

平成 23 年度事業報告

1 調査・研究事業

調査研究事業については、前年度に引き続きリウマチ性疾患の病因、治療、予防、疫学等に関する広範な調査・研究の助成等を行った。

(1) リウマチに関する調査・研究の助成（資料-1~2 頁）

① 調査研究助成

リウマチ性疾患の病因、治療、予防、疫学等に関する調査研究 12 件について 100 万円の助成を行った。（申請件数 46 件）

② 三浦記念リウマチ学術研究賞

①の調査・研究助成のうちから特に 1 件選考して授賞

(2) 平成 23 年度医学賞の授与と平成 24 年度授賞者の募集（資料-2~3 頁）

リウマチ学の発展・進歩に大きく寄与する独創的な研究を顕彰し、その継続を助成することを目的とする「ノバルティス・リウマチ医学賞」授賞者 1 名を選考し、賞金 300 万円を授与した。

受賞者 松本 功 筑波大学大学院人間総合科学研究科
疾患制御医学専攻臨床免疫学 准教授

研究課題 関節リウマチの発症メカニズムの解明とその制御

（申請件数 2 件）

平成 24 年度についてはノバルティス・リウマチ医学賞の募集告知を行い、6 件の応募申請があった。

(3) 平成 23 年度（第 14 回）「日本リウマチ財団柏崎リウマチ教育賞」の授賞

リウマチ性疾患に関する医学教育を通じ、リウマチ学の進歩・発展に著しく貢献のあった者を顕彰・助成することを目的とする「柏崎リウマチ教育賞」の授賞を行った。

受賞者 齋藤輝信 独立行政法人国立病院機構西多賀病院
リウマチ疾患研究センター センター長

賞金 100 万円

(4) 平成 22 年度「日本リウマチ財団リウマチ福祉賞」の授賞

リウマチ性疾患に悩む患者に対して永年にわたる医学的又は社会的救済活動を通じて、著しく貢献のあった個人又は団体を表彰することを目的とするリウマチ福祉賞（記念盾、賞金 20 万円）の授賞を行った。

受賞者 八木 恵美子 日本音楽療法学会認定音楽療法士

(1) 平成 22 年度三浦記念リウマチ学術研究賞 及び (2) から (4) の各賞については、平成 23 年 6 月 6 日開催のリウマチ月間リウマチ講演会の場において授賞式を行った。

授賞式に先立ち 5 月 30 日、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、本町記者会、重工クラブに、各賞の趣旨、授賞理由、功績等の資料を提供した。

2 普及啓発事業

(1) 機関紙「日本リウマチ財団ニュース」の発行

名称：「日本リウマチ財団ニュース」第106～111号（4色刷り、8～12頁）

部数：約4,600部

配布先：登録医、賛助会員、日本リウマチ友の会（支部）、厚生労働省、都道府県

(2) 平成23年度リウマチ月間啓発ポスターの印刷・配布

制作数：リウマチ月間12,150部、リウマチ月間リウマチ講演会5,650部

配布先：保健所、市町村保健センター、医療機関、患者団体等

(3) 平成23年度リウマチ月間リウマチ講演会の開催（資料-3～4頁）

リウマチ性疾患に関する正しい知識を一般に普及するとともに、リウマチ性疾患の征圧を推進するための啓発運動の一環として実施した。

日時 平成23年6月6日（月） 午後1時～4時

会場 丸ビルホール 東京都千代田区丸の内 2-4-1

後援 厚生労働省 日本医師会 日本リウマチ学会

日本整形外科学会 日本リウマチ友の会

参加者 250人

(4) リウマチ情報センターの運営

医療情報委員会（委員長 高林克日己 千葉大学医療情報部教授）において、インターネットホームページによる情報の提供を実施した。

プロバイダー 富士通インターネットサービス

サーバー スターティア株式会社

[ホームページアドレス] <http://www.rheuma-net.or.jp/>

[電子メールアドレス] inform@rheuma-net.or.jp

平成23年度中訪問数 720,089件

(5) 医療保険委員会（委員長 井上博 井上病院理事長）において、リウマチ医療に係る診療報酬制度上の問題点等を検討、「東北地方太平洋沖地震等の被災に伴う保険診療の取扱いについて」、「ゴリムマブ製剤注射の在宅自己注射指導管理料について」厚生労働省へ要望書を提出した。

平成22年度より厚生労働省へ要望していた「アバタセプト製剤の外来化学療法加算について」は24年3月に要望が実現した。これら情報については、財団ニュース、リウマチ情報センターにて広報した。（資料-4～6頁）

3 教育研修事業

(1) 教育研修委員会（委員長 山本一彦 東京大学教授）において、リウマチ登録医とリウマチ診療に従事する医師等を対象に全国6地区においてリウマチ教育研修会を実施、参加者数延べ424名（登録医249名、その他175名）であった。（資料-6～11頁）

- (2) リウマチのトータルマネジメント推進のため、リウマチの治療とケア研修会及び RA トータルマネジメントフォーラムを開催した。また、平成 22 年に創設した登録リウマチケア看護師の登録申請資格取得の機会を設けるため、特別に登録リウマチケア看護師を対象とする研修会を愛知県名古屋市で開催をした。
- ① リウマチのケア研究委員会（委員長 山本純己 一番町リウマチクリニック顧問）において、保健、医療、介護、福祉、行政等に従事する医師、看護師、薬剤師等を対象に全国 6 地区でリウマチの治療とケア研修会を開催、参加者数延べ 673 名（医師 144 名、看護師 355 名、薬剤師 41 名、その他 133 名）であった。（資料-11～17 頁）
- ② リウマチケア専門職制度検討会（委員長 松本美富士 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム内科教授）において、企画、運営した登録リウマチケア看護師研修会には、155 名の参加があった。（資料-17 頁）
- ③ RA トータルマネジメント研究会（委員長 山本純己 一番町リウマチクリニック顧問）が、各地区で行ったリウマチのケア研究活動の成果に関し、当財団と研究会が共催で RA トータルマネジメントフォーラムを東京で開催した。（資料-17～19 頁）
- (3) リウマチ医（登録医）の会の開催 （資料-19～20 頁）
「都道府県リウマチ登録医の会の指定について（平成 3 年運営委員会決定）」に基づき、リウマチ登録医等リウマチ診療医を対象に研究及び研修を実施した。10 道県で延べ 14 回開催した。
- (4) インターネットを利用した e ラーニングの教材として第 4 弾「関節リウマチ Visual Study」を作成した。22 年度から継続事業であり、あわせて CD-ROM も作成し登録医へ配布した。（資料-20 頁）
- (5) 財団主催以外の教育研修会について
- ① 医師を対象とした教育研修単位の認定を行った。認定申請数及び認定数は、646 件であり、認定後の中止が 12 件あったが、東北地方太平洋沖地震による中止であった。
- ② 看護師を対象とした教育研修単位の認定を行った。認定申請数及び認定数は、252 件であり、認定後の中止が 9 件あったが、東北地方太平洋沖地震によるものであった。
- (6) 日本リウマチ財団海外派遣研修医について
若い優れたリウマチ専攻医を海外に研修のため派遣した。（資料-20～22 頁）
派遣人員：米国 5 人、カナダ 1 人、英国 1 人、スイス 1 人、ドイツ 1 人
計 9 人（応募者 9 人）
奨学金：各人 100 万円
- (7) 日欧リウマチ外科交換派遣医選考委員会（代表世話人 越智隆弘 大阪警察病院院長）において、日欧リウマチ外科交換派遣医制度要綱に基づき、欧州へ 2 名研修医を派遣した。（資料-22～23 頁）

(8) 国際学会におけるリウマチ性疾患調査・研究発表の助成 (資料-23~24頁)

「国際学会におけるリウマチ性疾患調査・研究発表に対する助成要綱」に基づき、意欲ある若手研究者に対して、3件（アメリカリウマチ学会：25万円）の助成を行った。（申請件数 3件）

4 登録医等養成事業 (資料-25頁)

① **登録医審査委員会**（委員長 腰野富久 横浜市立大学名誉教授）において、平成23年度新規登録医の審査登録と登録医更新者の審査更新及び平成24年度の新規登録医の申請受付を行った。

② **登録医名簿の発行**

名称：公益財団法人日本リウマチ財団登録医名簿

(平成23年6月1日現在) 登録医数 3,433名

部数：全国版3,700部、地区別140~350部

配布先：登録医、保健所、市町村保健センター、患者団体、希望する患者等

③ **リウマチ登録医制度あり方検討委員会**

今後のリウマチ登録医制度のあり方について模索するため、リウマチ登録医に実施したアンケート調査によると、①リウマチ診療、登録医制度改革に前向きな参考意見、②財団登録医、日本リウマチ学会専門医、日本整形外科学会認定医を一本化する、又はその類似意見、③リウマチ登録医制度を肯定する意見、④リウマチ登録医制度を否定する意見に大別されたが、登録医制度を肯定する意見が否定する意見より多くを占める結果となった。これらをもとに、根本的改進黨案を平成24年度にまとめるべく検討を行うこととされた。

5 リウマチケア専門職審査委員会 (資料-25頁)

リウマチケア専門職審査委員会(委員長 松本美富士 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム内科教授)において平成23年度登録リウマチケア看護師の審査及び登録を行った。

6 災害時リウマチ患者支援事業 (資料-25頁)

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震災害に関し、22年度に引続き、被災地の支援協力機関の被災状況、診療体制に関する情報を収集、リウマチ情報センターで発信した。

また、震災後、間をおいて被災地の支援協力医療機関を対象にアンケート調査を実施し、東北地方太平洋沖地震災害における災害時リウマチ患者支援事業実施結果反省点等を踏まえた検証を行い、今後の支援事業推進方策として平常時訓練実施要項の作成等を検討した。

7 法人賛助会員との懇談会の開催 (資料-25~26頁)

平成23年12月13日、学士会館において法人賛助会員との打合会を開催し、厚生労働省疾病対策課課長補佐が「リウマチ対策の方向性について」講演した。

8 関連団体等への助成

日本リウマチ友の会へ助成を行った。

9 後援名義の使用承認

次の事業に対して後援名義の使用承認を行った。

- ① 第19回熊本リウマチのケア研究会
- ② HAB 研究機構市民公開シンポジウム
- ③ 第15回石川県リウマチケア研究会
- ④ 第二回大阪リウマチネットワーク研究会

10 公益財団法人への移行認定

平成23年3月25日付け、府益担第2290号にて正式に「公益財団法人」として内閣総理大臣より認定書を受領し、平成23年4月1日付けにて移行登記を完了した。

11 理事会等の開催状況

(1) 理事会

第1回理事会

開催年月日	平成23年6月21日(火)午後3時~4時
開催場所	学士会館 302号室 東京都千代田区神田錦町3-28
出席者数	理事10名 監事2名
議題	第1号議案 平成22年度事業報告に関する件 第2号議案 平成22年度決算に関する件 第3号議案 平成23年度事業計画に関する件 第4号議案 平成23年度収支予算に関する件 第5号議案 評議員選定委員会の設置に関する件 第6号議案 理事の選任に関する件 第7号議案 リウマチ登録医規則等の改正に関する件 第8号議案 登録リウマチケア看護師規則等の改正に関する件

第2回理事会

開催年月日	平成24年3月27日(火)午後4時~5時
開催場所	学士会館 201号室 東京都千代田区神田錦町3-28
出席者数	理事12名 監事2名
議題	第1号議案 平成23年度収支予算の補正に関する件 第2号議案 平成24年度事業計画に関する件 第3号議案 平成24年度収支予算に関する件 第4号議案 評議員選定委員会運営細則(案)に関する件

- その他
- ・ 理事長等の職務状況の報告に関する件
 - ・ リウマチ登録医制度の見直しに関する件
 - ・ 登録リウマチケア看護師制度の見直しに関する件
 - ・ その他

(2) 評議員会

第1回定時評議員会

- 開催年月日 平成23年6月21日(火) 午後4時～5時
 開催場所 学士会館302号室 東京都千代田区神田錦町3-28
 出席者数 評議員8名 理事10名 監事2名
 議 題 第1号議案 平成22年度事業報告に関する件
 第2号議案 平成22年度決算に関する件
 第3号議案 平成23年度事業計画に関する件
 第4号議案 平成23年度収支予算に関する件
 第5号議案 評議員選定委員会の設置に関する件
 第6号議案 理事の選任に関する件
 第7号議案 リウマチ登録医規則等の改正に関する件
 第8号議案 登録リウマチケア看護師規則等の改正に関する件

第1回臨時評議員会

- 開催年月日 平成24年3月27日(火) 午後5時～6時
 開催場所 学士会館201号室 東京都千代田区神田錦町3-28
 出席者数 評議員11名 理事12名 監事2名
 議 題 第1号議案 平成23年度収支予算の補正に関する件
 第2号議案 平成24年度事業計画に関する件
 第3号議案 平成24年度収支予算に関する件
 その他
 - ・ リウマチ登録医制度の見直しに関する件
 - ・ 登録リウマチケア看護師制度の見直しに関する件
 - ・ その他

(3) 評議員選定委員会

- 開催年月日 平成23年9月7日(水) 午後3時30分～4時30分
 開催場所 丸ビル8階「ガラスルーム」
 出席委員 5名
 議 題 1. 評議員の選定について
 2. その他